



# 学校運営協議会だより

令和元年10月7日発行

## 『学力向上』と『地域人材活用』の在り方について

10月3日(木)14:00より第3回学校運営協議会が行われました。5校時は、10月に入っても秋を感じさせない環境の中でも意欲的に学習に取り組む生徒の様子を参観していただきました。

授業参観後に佐藤寛委員にご挨拶を頂き、1学期末の教職員、保護者を対象とした学校評価と全国学力・学習状況調査結果分析を基に学校や生徒の現状の課題解決へ向けた対応策等について「熟議」していただきました。また、委員の方々に参画していただいた7月に行われた「環境学習」、9月に実施された「郷土の歴史講話」の振り返りを行うとともに、1月に計画されている「地域人材を活用した面接指導」、「地域の産業講話」の在り方等について熟議を行いました。

### 考える(熟議)



こんな生徒に!  
こんな学校に!

## 学校運営協議会メンバー紹介

酒匂 景一(会長)	元東区公民館長
佐藤 寛	学習塾塾長
佐藤 克寛	志新会会長
宮ヶ原 耕平	ライオンズクラブ会員
山裾 律子	民生委員 保護司
片野 美秀	元森山校区公民館長
井久保 修二	田之浦校区公民館長
中島 弘幸	潤ヶ野小保護者 学校歯科医
川野 千代子	ssw 安楽小運営協議会委員
日高 太	P T A会長
萩元 晴彦	志布志中学校校長
永井 孝典	志布志中学校教頭
野間 卓	志布志中学校教諭(担当)

## 第3回学校運営協議会報告

### 1 学校の現状について

- 7月に教職員・保護者を対象として実施した「学校評価」の結果を基に生徒・学校の現状について説明を行う。
- 4月に実施された「全国学力・学習状況調査」結果の分析と対応策、1月に実施される「鹿児島学習状況調査」へ向けた取り組みについて説明を行う。
- 総合的な学習の時間における地域人材活用について説明を行う。  
ア「環境学習」(12年)イ「郷土の歴史講話」(1年)  
ウ「地域人材を活用した面接指導」(3年)  
エ「地域の産業講話」(2年)



### 2 学校の現状と今後の取組に対する熟議

- 保護者アンケート下の回収率はどのくらいなのか。  
学校評価結果にも表れているが、全ての学年約8割の保護者が学校の教育活動に対する評価を行って下さっている。  
また、学校教育だけでなく、家庭教育に対する評価も向上してきている。

- 新しい「大学入学共通テスト」が2021年1月から実施され、問題傾向がかなり変わると言われているが、保護者や生徒への周知を図る必要があるのではないか。

今、志布志高校から「大学入学共通テスト」へ向けた施行調査を取寄せ、職員が閲覧できるようにし、問題作成の資料にできるようにしている。また、県や地区の評価問題作成員として今後求められる学力に対応する問題作成の研修を行っているので、全職員へ広めていきたい。

- 「全国学力・学習状況調査」質問紙の結果に「学校に行くのが楽しいか」という問いに90%の生徒が「はい」と答えていることは素晴らしい。

「将来の夢を持っていますか」「難しい事でも失敗を恐れずに挑戦していますか」という問いに対しても肯定的な答えをする生徒の割合が全国よりも高い状況である。

今、生徒会の頑張りが少しずつ形になつてあり、生徒会の取組(ボランティア活動や常時活動)が浸透し、学校をよりよくしているという雰囲気が感じられる。

- 本年度実施された「環境学習」や「郷土の歴史講話」は今後も継続して行ってほしい。

「環境学習」は、時期をもう少し早め、1年生を対象に実施できるようにしていきたい。  
これから始まる教育課程編成に委員の方々の考えを活かしていきたい。

- これからの社会は、コミュニケーション能力が求められるので、自分の考えを発言できる環境整備に努めてもらいたい。

「地域人材を活用した面接指導」は、生徒たちに緊張感を持たせ、自分の意見をはっきり言える研修の場になってほしいと考えています。

本年度の学年弁論大会では、自分の考えをノー原稿で発表できる生徒の姿も見られたので、今後このような場を数多く設定していきたい。

### 3 授業参観を通して

- 昼休みが終わったばかりで、気温も高く集中しづらい状況であったが、一生懸命取り組む姿が随所に見られた。

### 4 その他

- 今回は、12月12日(木)を予定している。